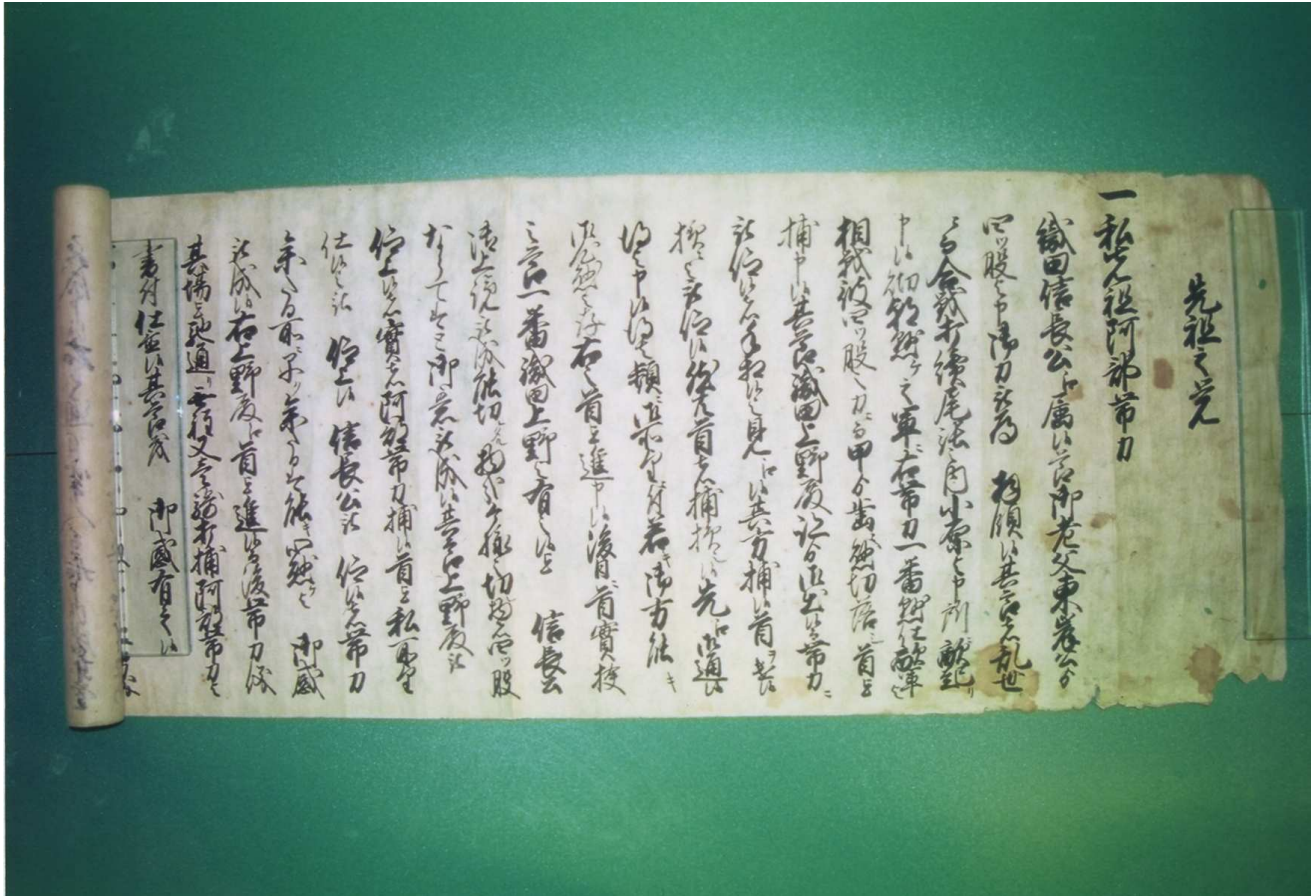


市指定文化財<古文書>

あべもんじょ
阿部文書

指定日 昭和41年4月15日

所在地 荒尾市



阿部文書は『熊本県資料』中世(一)に30通記載されているが、古いものでは加藤清正花押の書状が2通ある。清正は天正16年(1588)肥後に派遣されており、その年11月のものか宛名は加藤与左衛門尉あての1通と慶長4年(1599)安部五兵衛あて宛行状の1通である。阿部家は善八郎(のち五兵衛)が知行230石で清正に仕え、朝鮮出陣に参加したと記録にある。その子、忠右衛門は加藤改易後浪人していたが、細川入国後、天草・島原の乱で軍勢に加わり、その子仙右衛門は正観寺に住み、医業を開いている。

文書は、前述の2通のほかに、慶長7年から寛永3年(1626)までの「切米切符」や「銀子請取状」と宝暦5年(1755)の「先祖の覚」であるが、妙蓮寺が大風で破損した時、その修復に助力し、かねて懇意にしていた本妙寺・日遙上人からの書状もみられる。